

# 青木村消防団広報

## KODAMA

発行/青木村消防団 〒308-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 TEL.0268-49-0111  
発行責任者/沓掛俊一朗 編集/青木村消防団本部班

No. 29

発行：令和2年2月1日



令和元年度青木村消防団役員と退団者の皆様



### 令和二年青木村消防出初式 式辞

団長 沓掛 俊一朗

希望溢れる令和二年の新春を迎え、長い歴史と伝統を誇る青木村消防出初式が、ここにかくも盛大に挙行できます事は、団員と共に喜びとするところであります。団員各位とご家族の皆様に対しまして、日頃のご活躍とご苦労に深く、感謝申し上げます。また、御来賓の皆様におかれましてはご多忙の中ご臨席賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年の当村を振り返りますと、四月九日・十日に発生しました入田沢地区山林火災、五月九日に起きました細谷地区その他火災を合わせた二件、行方不明者の捜索一件の出動。また、台風十九号襲来による豪雨での出動がありました。昨年三月に「避難勧告等に関するガイドライン」が改訂されました。台風十九号襲来時、当村においても最大警戒レベルである警戒レベル五が発令されましたが幸いにも人的災害はなく、最小限の被害に食い止める事が出来ました。これも川西消防署職員の皆様のご協力と、日頃から村民の皆様の方の防災意識の高さ、ならびに団員諸君の予防広報活動の賜物と感謝いたします。

襲来では、今まで経験したことのない激しい豪雨により、千曲川やその支流河川が氾濫し、上小管内においても各地で社会インフラの損壊や、収穫前の農作物に大きな損害をもたらすなど、甚大な被害に見舞われました。また、全国各地に大きな爪痕を今もなお残しております。

我が青木村消防団のお話ですが、団員ご家族が被災された方もいらつしやいます。消防団員は使命として懸命に地域を守り、また同時に自分の家族も守らなければなりません。青木村が危険だった為、村外へ家族を避難させたその先で、河川が決壊し心穏やかでなかつた事と思えます。ですが、自分の地域を懸命に守り抜いたあと、家族の待つ被災地に向かい、身を粉にして、災害対応に向かった姿は深く感動いたしました。

また、これらの災害では尊い命が奪われたほか、今もなお行方不明の方がいらつしやいます。謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を心からお祈り申し上げます。

災害はいつどこで何が起るか分かりません。なかなか消防団員の増員が見込めない所、防災技術の向上はもとより、更に進化した組織造りで村民の皆様へ安全で安心な青木村をお届けしなければなりません。昨年令和元年より、機構改革会議に消防委員の皆様にご出席いただいております。消防団の現状をご理解いただいた上で良きアドバイスを頂き、消防団を取り巻く環境改善にご尽力を頂いております。

年々少子高齢化に伴い、消防団員を取り巻く環境が厳しくなっております。青木村消防団がワンチームとして、この問題を打破していく為に、団員皆で、知恵を出し合い技術の向上を図り、青木村の防災の担い手としてはおもろく、青木村の未来の担い手として、お力をお借りしたいと思います。

また本日お越しの御来賓の皆様には、当消防団に対し引き続きご協力とご指導ご鞭撻をお願いいたします。我々も上小地域の安心・安全の為、努力をして参る所存でございます。そして北村村長をはじめ村民の皆様におかれましては、防災設備の拡充や消防施設の更新など、当消防団の活動に日頃より深いご理解・ご協力、誠にありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

さてここで本日は長年消防団活動に御尽力された退団者の皆様をご紹介いたします。中澤前部長をはじめ、消防団役員の方を歴任された皆様、団員として常に前線に立ち続けて頂いた皆様です。長年に渡り当村の安心安全の為、御尽力を頂き、ありがとうございます。そして、本当にお疲れ様でした。今後とも協力とご指導を宜しくお願いいたします。

最後に我々青木村消防団は複雑多様化したいく災害に対し、郷土愛護の精神を胸に精一杯立ち向かってまいります。

結びに、本日ご臨席を賜りました来賓各位、並びに団員諸君とご家族の益々のご健勝・ご多幸をまた、青木村の無火災・無災害をご記念申し上げます。式辞といたします。

# 一年間の活動を振り返って



副団長 杵掛 啓二

村民の皆様には、日頃より消防活動に対し深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

一年間の活動を振り返りますと、機別消防団の発足、団員減少に伴う団員の負担軽減や、十観山縦走による無線テスト、ラッパ班の今日までの功績に対しラッパ隊への名称の変更など、様々な取り組みを行ってまいりました。

私自身では、副団長の責務をこまごま務めてこられたのは、団長をはじめ、本部、団員の仲間の支えがあり、叱咤激励をして頂ける諸先輩方、同年代のお陰だと感謝致します。

村内で起きた災害では、二日間に及んだ山林火災、台風十九号豪雨災害による対応等、様々な災害がありました。分団の垣根を超え協力し合い消火する団員、協力団員、機別消防団員の姿に頼もしさを感じました。また、行政と連携して、対応出来たことに対しまして皆様方に感謝申し上げます。青木村消防団本部として、これから様々な問題について考え、協議していき、より良い青木村消防団を築いて行き、青木村の安心安全を守るべく務めて参ります。また、団員人数が年々、減少しております。団員を随時募集しております。消防団として、私達と一緒に青木村を守りましょう。



本部長 小林 忠彦

この一年を振り返ると、青木村消防団の団結力の高さに改めて感動した一年となりました。規模の大きな山林火災や、今まで経験した事のない大型台風の影響による豪雨対応など、消防団一丸となつて対応してまいりました。団員減少に伴い団員一人一人の負担が大きくなり、災害対応は決して生易しいものではありませんでした。その様な中でも、災害に立ち向かい、知恵を出し合い助け合いながら青木村を守ろうとする団員皆様の姿に、感動した事を今でも鮮明に覚えております。

最後に村民の皆様への応援なしでは消防団活動を進めてまいり事は出来ません。引き続き青木村消防団を応援して下さいます様よろしくお願い申し上げます。

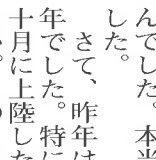
この一年を振り返ると、青木村消防団の団結力の高さに改めて感動した一年となりました。規模の大きな山林火災や、今まで経験した事のない大型台風の影響による豪雨対応など、消防団一丸となつて対応してまいりました。団員減少に伴い団員一人一人の負担が大きくなり、災害対応は決して生易しいものではありませんでした。その様な中でも、災害に立ち向かい、知恵を出し合い助け合いながら青木村を守ろうとする団員皆様の姿に、感動した事を今でも鮮明に覚えております。



水利救護長 高野 昌幸

村民の皆様におかれましては、日頃より消防団活動にごご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

本年度は水利救護長という重要な役割を拝命いたしました。消防団としての経歴の浅い私を、杵掛団長はじめ本部の皆様、分団・本部班の皆様、諸先輩方にも支えていただきありがとうございました。深く感謝申し上げます。



ラッパ長 松田 泰彦

任し間もなく一年が経とうとしています。

今年度よりラッパ班からラッパ隊へと変わりました。消防団組織での役割の重要さと、今までの活動に対する評価と期待を再認識し、隊員の意識もより向上しています。

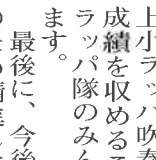
団員数減少の中、ラッパ隊構成の必要人数確保のため、今年度からは協力団員七名の方々に十月まで現役団員十九名と共にラッパ隊



警備長 堀内 隆志

今年度警備長とし団を運営する側の立場として仕事をさせて頂きました。右も左も分からない状況が始まり、幾つかの壁や災害発生にぶつかりました。その様な中、杵掛団長をはじめ諸先輩方、小田駐在所長にはご指導ご協力を頂き誠に有難うございました。

そして、本部内の皆で支え合う絆、本部班・分団の皆様のご理解とご協力を頂き、任務遂行が出来た一年であった事を大変深く感謝いたします。



機関長 上原 雅史

日頃より、消防団活動に際し、多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私はお酒が大好きです。登下校する楽しそうな子供達の笑顔が大好きです。皆さんは何が好きですか？

この村に住む人々が好きな事に情熱の全てを注げる安心、安全な青木村を目指し、我々消防団は日々活動しております。

三月末で消防団を一度退きますが、「消防」とは一生切っても切れないものだと考えます。大切なものを守る為、お力をお貸しください。あなたの大切なものを共に守ります。青木村消防団一丸となつて活動に邁進してまいりますので、変わらぬご支援とご協力を頂きます様、よろしくお願ひ申し上げます。

## お詫び

昨年秋に行われました火災予防週間の予防啓もうチラシについて、前触れもなく広報あおきに折り込み、配布するようチラシに村民の皆様へ迷惑を招いておきました。深くお詫び申し上げます。経緯でございまして、消防団員減少に伴い、各分団による従来の配布方法では団員一人の負担が増大し、継続が困難な状況で苦慮しておりました。そこで村からのご配慮もありこのような様な経緯に至った次第でございました。そのようなことをご理解頂ければ幸いです。今後とも予防啓もうチラシを広報あおきに折り込むことについて、ご容赦いただきたく存じます。